



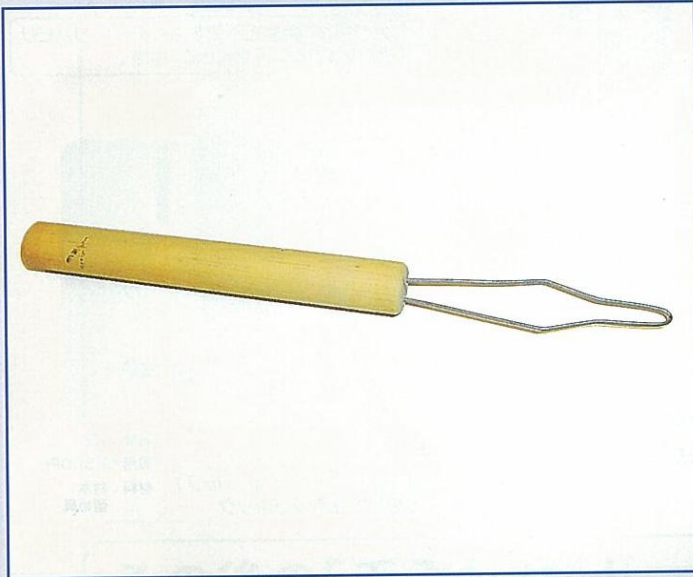
高齢者・障害者のための

お役立ち手作り 自助具

自助具とは、運動機能などに障害のある人のために、自力で日常生活動作を行えるように工夫して作られた器具・道具をいいます。

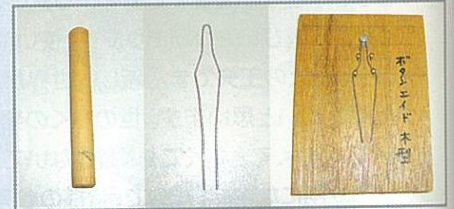
提供 / 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 福祉用具プラザ北九州
〒802-8560 福岡県北九州市小倉北区馬借 1 丁目7-1 総合保険福祉センター 1 階
TEL. (093) 522-8721 FAX. (093) 522-8771

ボタンエイドを作ろう



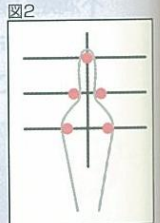
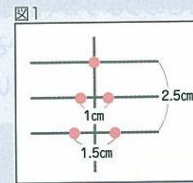
材 料

- 丸い木の棒(直径1.5~2cm 長さ95cm) 1本
- ピアノ線(直径1~1.5mm 長さ15cm) 1本
- 木の板(あれば)(10×13cm) 1枚



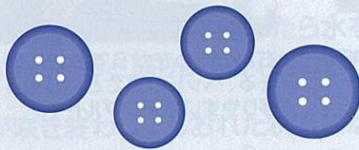
作り方

- 木の板に図1のように釘を打ちます。
- 釘にピアノ線を図2のように通し、曲げて作ります。
- 木の棒の片方の頭に、中心から4mmはなして深さ1.5cmの穴を2つ開けます。
- ピアノ線の先を③の穴に差し込み、接着剤で固定します。
- 角をサンディングペーパーで磨き、好みによって絵などを描き塗装します。
- 握る力の弱い人は、丸棒に滑り止めシートなどを張るとよいでしょう。



リウマチや脳性まひの方や、指先でボタンをつまみ穴に通すのが難しい方

※このコーナーの自助具は全国の先輩方のアイデアを福祉用具プラザ北九州で作製・改良したものを掲載しています。



使い方

服のボタン穴にピアノ線を通し、輪の部分にボタンをひっかけます。ピアノ線を穴から引き抜くとボタンが穴を通り、ボタンをかけることができます。このときもう片方の手で服の端を固定するとより容易にできます。

ボタンをはずすときは、逆にボタンを輪に通し、ねじるようにしながらボタンの穴に針金の輪の先から通します。

*ピアノ線の形はボタンの大きさにより調節してください。

